

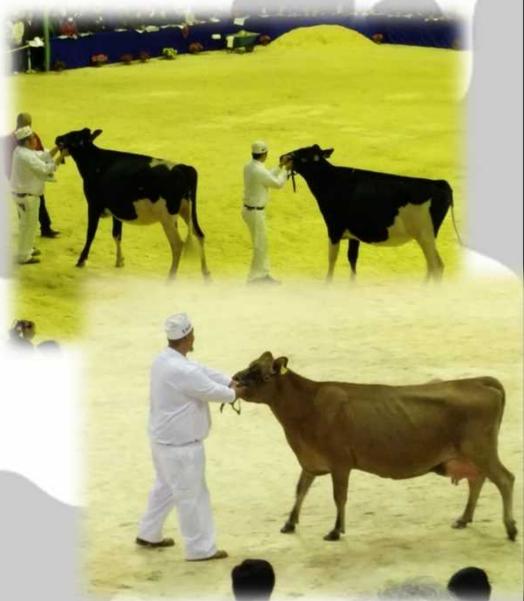
B & W 新聞

栃木県農業大学校ホルスタイン共進会愛好会

発刊者
ホルスタイン
共進会愛好会
会長
田澤 美里

去る十月二十三日〜二十六日にわたって開催された、『第十四回全日本ホルスタイン共進会北海道大会』の見学に行ってみました。

共進会の初日は、晴れて人も牛も過ごしやすい天気でしたが、二日目は気温が低く雨だけでなく雪も降っており、また風も強く荒れた天気となりました。しかし、会場は多くの出品者や来場者で盛り上がりつつありました。その報告と感想をまとめました。



県共進会とは違い、出品頭数の多さや会場での盛り上がりにとっても迫力を感じました。

残念ながら、栃木県の牛が1位になることができませんでしたが、各都道府県を代表する牛が集まりショウリングを歩く姿に感動しました。

齋藤 愛望

私は、出品者側で1週間ほど飼養管理のサポートをさせていただきました。経験したことがないくらい、体力的にも精神的にも大変でした。しかし、最終日に「みんなのおかげで良い成績が残せました。」と言われ、とても嬉しく思いました。また、このような経験をさせていただき農家の方々に感謝しています。

枝 美咲



北海道の牛は、都府県の牛と比べて群を抜いて優れていました。また、血統によって結果が大きく左右されてしまうことを身をもって感じました。農大にいる春の県共進会に出品予定の“ユキ”という牛は、あまり良い血統とは言いませんが、調教や飼養管理で少しでも上位を目指せるよう努力していきたいです。

磯 愛美

出品者や出品牛だけではなく、周りのスタッフの方々の円滑な運営にも感銘を受けました。ショウリングではふん尿処理を迅速かつ清潔に行い、会場入り口では衛生管理を徹底していました。全共は、多くの方々からの支えがあって成り立っているんだと実感しました。

田澤 美里